

# Polaris

長町南小学校 第6学年通信

NO. 13

2020.5.18(月)

## 《子どもたちへ 「改めて、これからよろしくお願ひします」》

4月に教科書を配布して以来の登校になります。中には、6年生になって初めて学校に来たという人もいるかもしれませんね。大きなけがや病気もなく、再会できたことを、まず喜び合いたいと思います。改めて、今日、出会い直しということになりました。3月も含めて3か月のブランクがあり、今後も予断を許さない状況ですが、それでも、6月1日から学校が本格的に再開するという前提で、やるべきことをしっかりと、そして、今だからこそ、やれることを工夫して取り組んでいきたいと思っています。このような状況だからこそ、知恵を集めて、充実した学校生活にしていきたいと思います。改めて、これからよろしくお願ひします。

### 〈担任より〉

#### ○1組 佐藤大典

いよいよ学校再開の日が近づいてきました。約3ヶ月の休校期間、みなさんはどんな思いで過ごしていましたか。私は、とにかく今までの日常が早く戻ってくるよう願っていました。学校生活が始まれば、きっと苦勞することもあるでしょう。ですが、必ず明るい未来が待っています。神様は乗り越えられる試練しか与えません。なんととっても、今年はみなさんにとって特別な1年です。小学校生活を笑顔で締めくくられるよう、ともに歩んでいきましょう。

#### ○2組 松田優

5月も半ばになりました。今日からいよいよ分散登校ですね。1時間という短い時間ですが、皆さんに会ったら何を話そうかな、何を聞こうかなとわくわくしながら考えていました。とても楽しみにしています。例年とは違って6月からの学校スタートになりますが、その分、濃く充実した学校生活を送れたらいいなと思います。6月まであと少し！改めて、これからよろしくお願ひします。

#### ○3組 小野寺浩之

「天然痘・肺結核・インフルエンザ」など、歴史上、人間は多くの病に苦しめられてきました。しかし、そのたび、人間は世界中の人々の叡智を集めて、苦難を克服してきました。歴史が証明しています。『人間は、新型コロナウイルスも、必ず乗り越えられる。』と…。今後、私たちはどのような社会を目指し、どのような学校を創っていくのか？難しい問いですが、皆で一緒にこの問いに対する答えを考えていきたいと思っています。それが、学校に集い、学ぶ意味の1つなのですから。

#### ○4組 那須由香

6年生のみなさん、元気にしていましたか？  
突然の休校から3ヶ月近く経ちました。分散してではありますが、今日から皆さんに会えるのを楽しみにしていました。6月からいよいよ学校が再開しますね。大きな変化の中での学校再開ですが、皆さんにとっては小学校最後の1年。一緒に過ごせる時間や授業を一つ一つ大切にしたいと思っています。改めて1年間よろしくお願ひします！

## 6年生 家庭での学習の進め方について その⑬ 算数編 その②

今回は、教科書24ページから始まる「数量やその関係を式に表そう」の自力学習の進め方です。

5年生までは、数が分からない場合や、場合によって色々と変わる場合(変数)は、□や○の記号を使って式に表してきました。(例「 $38 + \square = 50$ ,  $\square = 50 - 38 = 12$ 」)など…。

6年生の算数では、答えが分からなかったり、場合によって色々と変わったりする数(変数)をアルファベットの「x」「y」「z」や「a」「b」「c」を使って表すようになります。

(例)「 $y = 3.14 \times x$ 」 「 $(a + b) \times c = a \times b + a \times c$ 」(分配の法則)など…。

それでは、以下の手順で教科書を使って予習してみましょう。

※準備物…算数の教科書、算数のノート

### ◎「数量やその関係を式に表そう」の学習の進め方(例)

①□の記号を使って、式に表す復習をする。(教科書24P)

▽式を見ただけでは答えが分からない数やいろいろと変わる数はどれでしょう？

その数が□です。□を使って、教科書に直接、式を書きましょう。

②記号「x」を使って、式に表す。(教科書25P～26P)

▽式に表すポイント→一定で変わらない数は？いろいろと変わる数は？変わる数がxです。

・xを上手に使おう。→今までだと式は「 $5 \times \square$ 」でした。xを使うと「 $5 \times x$ 」になります。

※様々なxの書き方がありますが、教科書の書き方を見て、ノートに練習して身に付けましょう。

③円の直径の長さ、円周の関係を式に表す。(教科書27P～28P)

・円周を求める式は「円周＝直径×円周率(3.14)」でした。(重要)

・円の大きさが変わっても、一定で変わらないのはどれ？大きさによって変わるのはどれ？

2つあります！→直径と円周です。→変わる数が2つある場合は「y」も使います。

直径が□cmの時、円周○は「 $\square \times 3.14 = \bigcirc$ 」の式で表せます。

→「 $x \times 3.14 = y$ 」 かけ算は交換法則が成り立つので「 $y = 3.14 \times x$ 」もOKです。

・教科書の問題をよく読んで、算数のノートに、問題の答えを書きましょう。

④問題によって、式の表し方の違いを理解する。(教科書29P)

▽考えるポイント→場面によって色々変わる数はどれか？答えは何算で求められるか？

⑤身の回りの生活を生かして、xとyを使って式に表す。(教科書29P)

・教科書の「20」という数字を別の数字に変える。xが変わるにしたがって、大きさが変わる数字をyにして表す。考えついたら、教科書を参考にして算数のノートに書く。

⑥平行四辺形の底辺・高さ・面積の関係を式に表す。(教科書30P)

▽式に表すポイント→今回は分からない数字がxです。

・一定で変わらないものは？→高さが8cmであること。分からないのは辺BCの長さです。

・平行四辺形の面積を求める式は「平行四辺形の面積＝底辺×高さ」でしたね。(重要)

・答えを直接教科書に書く。

⑦学習のまとめをする。(教科書32P, 246P～247P)

・今週渡された課題の冊子にも「文字と式」のプリントがあります。教科書を参考にして解いてみましょう。

説明がないと分かりにくいですが、上のやり方を参考にして挑戦してみてください。